



令和2年6月号

京都市立春日丘中学校

道徳通信

学校教育目標

『すべての子どもの

学習機会の保証』

なかなかスタートできなかつた令和2年度。いよいよ本格的に学校が動き出しました。春日丘中学校では、道徳の授業もとても大切にしています。各学年の道徳の授業の様子を月に1回、この通信で発信しますので、ぜひおうちの方と読んでみてくださいね。

長かった休校期間も終わり、少しずつ元の学校生活が戻ってきました。すべてが今まで通りとはいきませんが、再び活気のある日常を送ることができて、嬉しい気持ちでいっぱいです。3月の休校も含めると、約3ヶ月間休校が続きましたが、この期間で感じたことは「当たり前前の日常が当たり前ではない」ということです。頭の中では理解していても、この休校期間で実際に経験したことで、より一層その大切さを感じる事ができました。まだまだ我慢すべきこともあります。今のこの生活に感謝をし、1日1日を大事に過ごして行ってほしいと思います。

さて、話は変わり、約10日後に定期テストが行われます。1年生にとっては中学校に入学して初めてのテストです。どのように勉強していいかわからない…という人もいるかも知れませんが、まずは与えられた課題をしっかりとやりましょう！わからない問題をテストまでに先生や友達に聞いて“わからない”をなくしましょう！



--***-***-***-***-***-***-***-***-***-***-***-***-***-***

授業の様子を紹介しす



1年生

“ウイルスの次にやってくるもの”

新型コロナウイルスは短期間で全世界に広がり、私たちの生活に大きな影響を与えています。では、そのコロナウイルスの影響で、次にやってくると言われているものは何でしょう？それは、見えないこと、治療法が確立されていないことからくる「恐怖」だと言われています。不安やストレスがたまったら誰かを責めたり、攻撃したりしがちです。そんな中、社会ではいろんな人たちが支え合い、助け合いながら今の状況を乗り越えようとしています。大変な状況だからこそ、今の自分には何ができるのか、考え行動することが大切なのです。

《ワークシートより（授業の感想）》

- これから自分ができることは差別をしないことです。動画で医療関係の人を無料でホテルに泊めたり、防護服を用意するために、多くの人が雨がっぱの寄付をしているところを見て、自分も優しい人になりたいと思った。
- これからの自分にできると思うことは、感染リスクを減らしながら人と上手に関わっていくことだと思った。
- 自分ができることは少ないかもしれないけど、感謝を忘れずにいろいろな人たちのことを見習っていききたい。みんなと一緒に乗り越えていききたいと思った。
- いつウイルスに感染してしまうかわからない中でも、人のために働く人がいることを忘れずにいたい。
- 自分も協力したり、根も葉もないうわさを流したり、広めたりしないようにしていこうと改めて思った。そして、いろんなところで支えてくれる人たちに感謝したい。



“ばなしの女王”

家に帰ると、靴や服は脱ぎっぱなし、電気もつけっぱなし、水は出しっぱなし…それについておうちの人に注意されたことはありませんか？今回の話の“ばなし”とは、「何でもやりっぱなし」ということです。ただ、その「ばなし」が原因で重大事故につながりかねない出来事や、周りの人に迷惑をかけてしまう出来事が起きてしまいます。「ばなし」をやめ、よりよい生活習慣を送ることで、自分にとってプラスになることは何でしょう？みなさんも今の自分自身を見つめなおし、「ばなし」を1つでもやめてみませんか？



《ワークシートより（授業の感想）》

- 自分も「ばなし」があるので、しっかりと「ばなし」を直そうと思った。また、この話を聞いて周りにも迷惑をかけるとわかったので、他人にも迷惑をかけない人になりたいと思った。
- 規則正しい生活を送ると、いいことがたくさんあるとわかったので、少しずつ生活習慣を良くしていきたい。
- この授業で改めて自分を見つめなおすことができた。人に言われる前に気づけるように常に意識をできるようにしたいと思う。
- 意外と自分にもあてはまるものがあったびっくりした。望ましい生活習慣が送れるようになるだけで、生活の仕方や気持ちが変わるんだなと知った。
- これから家に帰ったら靴をちゃんとそろえようと思った。些細なことを直すことで、みんなが気持ちよく過ごせると思うので、今日習ったことを心がけていきたい。



“桃太郎”

昔話の桃太郎のお話を知っていますか？鬼に悪さをされ困っている村人のために桃太郎、きじ、さるが鬼ヶ島へ行き、鬼を退治します。村は平和になり、桃太郎は正義のヒーローになりました。めでたしめでたし。では鬼の視点になるとこのお話はどうなるのでしょうか。鬼にも守るべき家族がいたかもしれない、鬼の家族は桃太郎がどのように映っているのでしょうか。



一方にとっては正しいことでも、見方を変えるとそうではないことがあります。道徳は自分の意見を自由に発言することができたり、他の人の意見を聞くことができる機会です。いろんな意見を聞いて、自分の考えを深められる時間にしていきたいですね。

《ワークシートより（授業の感想）》

- 片方の目線からしか物事を見ていなかったら相手の気持ちもわからないし、人の気持ちを読み取るのはとても難しいから1つ1つの自分の発言や行動に責任を持って相手はどう思うかを常に考えながら人付き合いをしていきたい。
- 行動するとき少し待って冷静になって考えるようにしたい。また、一方的な正義をふりかざさないようにしたい。
- 自分と他人の立場を入れかえても納得できるのが社会正義だということがわかった。一方的に物事を見るのではなく、いろいろな視点から見て考えることが大事だと思った。
- 自分が正義、良いことだと思っている行為でも他人から見たらそうじゃない場合もあると分かった。自分と他人の視点を入れ替えても納得できるものであることが大切だと思った。